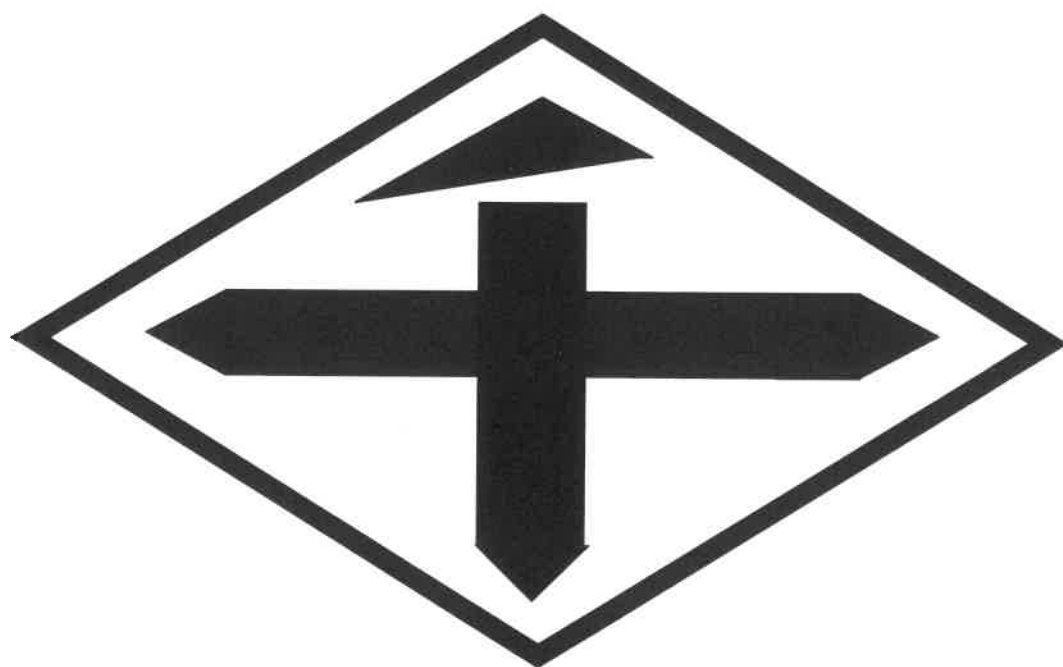


令和5年度

後期学校評価結果報告



八幡浜市立千丈小学校

令和5年度後期学校評価 教育計画に基づいた考察

マイナス評価減少 約0.1向上

マイナス評価増加 約0.1悪化

はい	→				いいえ
1	2	3	4	計	平均

1 つながり大切に、共に伸び合う学校								
児1	学校に行くのは、楽しい。	前期	79%	16%	5%	0%	95	1.26
		後期	67%	21%	4%	2%	94	1.37
保1	お子様は、楽しく学校に通っている。	前期	55%	3%	1%	0%	89	1.39
		後期	64%	17%	0%	0%	81	1.21

児童と保護者の回答にはやや矛盾があるが、ほとんどの児童が楽しいと答えているので、よい傾向であると言える。楽しくないと答えている児童については、すでに2学期末から個別に相談等を行っている。児童自身が「楽しい」と思えるようにするためには、学校生活の様々な場面において、自己有用感や物事に対するやりがいを感じられるよう、児童相互、児童と教師とのかかわりを大切にしなければならない。

2 基礎・基本の定着（授業・チャレンジタイム・補充学習・読書活動）								
児2	授業には、楽しく参加している。	前期	80%	17%	2%	1%	95	1.24
		後期	79%	17%	3%	1%	94	1.27
児3	授業は、分かりやすい。	前期	79%	18%	3%	0%	95	1.24
		後期	80%	18%	1%	1%	94	1.23
児19	家で、毎日、宿題や自主学習などの勉強をがんばっている。	前期	86%	11%	3%	0%	95	1.34
		後期	71%	20%	9%	0%	94	1.37

児23 平日（月～金）の家庭学習時間はどれくらいですか。（塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。）
 児24 休日（土、日、祝日）の家庭学習時間はどれくらいですか。（塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。）

【前期】

■3時間以上 ■2時間～3時間 ■1時間～2時間 ■30分～1時間 ■30分以内 ■まったくしない

【後期】

■3時間以上 ■2時間～3時間 ■1時間～2時間 ■30分～1時間 ■30分以内 ■まったくしない

児25	読書の日（月曜日）には、どれくらいの時間、本を読んでいますか。							
	【前期】	25	17%	52%	31%	1%	1%	
保2	学校は、基礎学力の定着と学力向上に努めている。	前期	56%	42%	2%	0%	89	1.46
		後期	59%	41%	0%	0%	81	1.41
保16	お子様は、読書の日（月曜日）には、本を読んでいる。	前期	26%	40%	29%	4%	89	2.12
		後期	33%	35%	30%	2%	81	2.01
保17	お子様は、宿題や自主学習（予習・復習等）をする習慣を身に付けている。	前期	39%	48%	12%	0%	89	1.73
		後期	43%	46%	10%	1%	81	1.69

・「授業が楽しい」と思っている児童がとても多く、日々の授業での取組がよい結果をもたらしていると考えている。楽しいと感じられない児童については、一つの教科でつまずくと、全体をネガティブに捉える傾向があるので、今後も個別指導や対話（教育相談）を通して、前向きに捉えられるように支援していく。

・読書については、前期に比べると0.11ポイント向上しているが、やはり個人差が大きい。読書の日（月曜日）の認識が家庭に帰ると希薄になるのだろうか、家庭での読書習慣は浸透が十分でないようである。また、課題学習で、文章を読まなければ解けない問題を出すなど、文章を読ませるための工夫をしていきたい。

・主に学力アップ週間に自主学習に取り組んでいる。「けてふれ」学習法を奨励したり、自主学習ノートの取組を互いに評価し合ったりすることで、時間だけでなく方法・内容も充実させていきたい。まだまだ個人差はあるものの自主学習のよい習慣が身に付いてきた児童が多い。主体的に学ぶ態度を育てるために、今後も引き続き指導していく。

・読書や家庭学習の習慣の定着のために、児童への継続的な指導はもちろん、保護者にも具体的な視点から指導や声かけをしてもらえるよう、啓発の仕方を工夫する。

3 思考力・判断力・表現力の育成（主体的・対話的で深い学び、授業改善）

児4	授業で意欲的に自分の思いや考えを発表したりノートに書いたりしている。	前期	66%	25%	6%	2%	95	1.44
		後期	66%	29%	3%	2%	94	1.41
児5	授業では、学級の友達と話し合う活動（ペア・グループ）をよくしている。	前期	76%	23%	1%	0%	95	1.25
		後期	71%	28%	1%	0%	94	1.30
児6	授業では、chromebook（クロムブック）をよく使っている。	前期	81%	18%	1%	0%	95	1.20
		後期	72%	28%	0%	0%	94	1.28
児7	chromebook（クロムブック）の使い方は分かる。（教えてもらった場合も含む）	前期	92%	7%	1%	0%	95	1.21
		後期	94%	5%	0%	1%	94	1.10

・継続的な取組により、教師も児童も共にICT活用能力が向上している。ICTを効果的に活用することによって、協働的な学びを実践することができ、思考力・判断力・表現力の育成にもつながっている。また、学習の個別最適化が可能となり、主体的な学習態度が育っている。今後も、ICT教育を進めることが、学力向上に不可欠である。

・アンケート結果を見ると、どの学年も、自分の意見を書いたり、話合いで意見を述べたりするなど主体的で対話的な学びの実践の積み重ねの成果が見られる。

・授業でも、学習効果を考えて適切にchromebookを活用する場面が増えている。一方で、思考して書くことによさもあるため、両輪で児童の力が伸ばせるようにしていきたい。家庭学習については、もっとchromebookを活用して広げていける。発達段階に応じて、多様な課題の出し方が考えられるので様々な活用に取り組んでいきたい。

4 命を大切に教育の推進（心の教育・防災教育・情報教育）

児9	言葉づかいに気を付けて、友達と、話したり遊んだりしている。	前期	74%	22%	3%	1%	95	1.34
		後期	62%	34%	4%	0%	94	1.43
児10	友達に優しく接している。（同じ学年の友達だけでなく他の学年の友達も含む）	前期	82%	16%	1%	1%	95	1.21
		後期	79%	18%	3%	0%	94	1.24
児11	学校のきまりが、守れている。	前期	73%	24%	2%	1%	95	1.32
		後期	72%	20%	5%	2%	94	1.37
児12	学校では、自分や友達の安全に気をつけて行動している。	前期	85%	14%	1%	0%	95	1.16
		後期	86%	10%	2%	2%	94	1.20
児13	学校で地震や火事が起こったとき、どういう行動をとればいいのか分かっている。	前期	91%	6%	1%	2%	95	1.15
		後期	81%	17%	1%	0%	94	1.19
児22	家の人がいないときに、地震などの災害が起こったとき、どうすればいいか話している。	前期	47%	27%	14%	12%	95	1.89
		後期	51%	24%	9%	10%	94	1.77
児20	家で、ゲームやSNSのきまりを守って遊んでいる。	前期	86%	11%	3%	0%	95	1.17
		後期	81%	9%	4%	0%	94	1.18
保4	学校は、言葉遣いや規範意識を高めるための指導に努めている。	前期	42%	56%	2%	0%	89	1.61
		後期	48%	51%	1%	0%	81	1.53
保5	学校は、児童の安全確保や施設・設備の安全管理ができています。（感染予防対策の徹底と適切な対応を含む。）	前期	55%	45%	0%	0%	89	1.45
		後期	58%	40%	2%	0%	81	1.44
保6	学校は、自分や他の人の命を大切に教育（心の教育・人権教育・防災教育・情報教育・交通安全教育）の推進に努めている。	前期	53%	47%	0%	0%	89	1.47
		後期	62%	36%	2%	0%	81	1.41
保7	学校は、校報やホームページ、学級通信等で情報を伝えている。	前期	72%	21%	6%	1%	89	1.36
		後期	72%	22%	6%	0%	81	1.35
保11	お子様は、明るく思いやりのある子に育っている。	前期	46%	54%	0%	0%	89	1.54
		後期	53%	44%	2%	0%	81	1.49
保12	お子様は、正しく判断し行動できる子に育っている。	前期	24%	72%	4%	0%	89	1.81
		後期	37%	58%	5%	0%	81	1.68
保18	お子様は、ゲームやSNSについて、学校や家庭のルールを守って利用している。	前期	40%	38%	19%	2%	89	1.83
		後期	32%	47%	20%	1%	81	1.90
保19	地震等の災害が起こった場合の対応を、お子様と話し合っている。（避難場所、連絡方法、保護者不在時の対応等）	前期	19%	66%	13%	1%	89	1.97
		後期	28%	52%	19%	1%	81	1.93
保20	家庭で、お子様と会話をよくしている。	前期	56%	40%	3%	0%	89	1.47
		後期	64%	33%	2%	0%	81	1.38

・児9、保4：「千丈っ子にここに宣言」の項目でもある、友達の呼び方や正しい言葉遣いができていない児童が若干いるが、相手の気持ちを想像し、思いやりのある言葉を使うことの大切さの理解を促していく。言葉遣いについては、その場で注意したり、月目標の学級のためで具体的な内容を設定したり、道徳や集会にも取り上げたりするなど、今後もあらゆる機会を捉えて指導していく。

・児13、保19：学校以外の場所や時間帯で災害が起こったときの対応について、前期は児童・保護者共に評価が低かった。学校での防災訓練の紹介や親子で防災について振り返るチェックシートを配付するなどしたが、成果が出ているとは言い難い。さらなる工夫が必要になる。

・保18：ゲームやSNSの利用について否定的な回答が19件とかなり多い。家庭によってきまりは違うと思うが、「家庭での約束事」を設定してもらうことは必須である。メディアにコントロールされない生活を送れるように、保護者と児童が共有できる方法を考えていきたい。アンケートを実施して、特に改善が必要な項目をピックアップし分析することによって、学校と家庭で足並みを揃えて対策を講じていく。生活アップカードの記録なども参考にしながら、特に気になる児童については、教育相談で個別に話をする。

5 子どものよさや可能性を伸ばす教育の推進

児14	先生は、あなたのことに、気をつけてくれている。	前期	81%	17%	1%	1%	95	1.22
		後期	76%	20%	3%	1%	94	1.30
児15	困ったことやいやなことがあったとき、先生に頼ったり、相談したりすることができる。	前期	69%	19%	7%	4%	95	1.46
		後期	70%	23%	6%	0%	96	1.36
児16	むずかしいことがあっても、自分のめあてに向かって、粘り強くがんばっている。	前期	79%	16%	4%	1%	95	1.27
		後期	77%	19%	3%	1%	96	1.29
保8	教職員は、一人一人のお子様の理解に努めている。	前期	53%	42%	6%	0%	89	1.53
		後期	64%	27%	7%	1%	81	1.46
保9	お子様と教職員は、良好な信頼関係を築いている。	前期	63%	33%	4%	0%	89	1.42
		後期	63%	31%	5%	1%	81	1.44
保10	お子様は、めあてに向かって粘り強くがんばる子に育っている。	前期	27%	69%	4%	0%	89	1.78
		後期	37%	56%	7%	0%	81	1.70

・児15：前期に比べ若干よい結果となっている。アンケート結果を受けて、当該児童との個別的、継続的な対話（教育相談、日常会話も含む）を行っていることが、効果的であったのかも知れない。それでもまだ6%の否定的回答もあるため、今後も児童理解に努めていく。

・児16、保10：児童と保護者の回答結果の差が0.4P以上開くなど、たいへん著しい。粘り強く頑張り抜くレジリエンスを高めるためには、取り組んだ先の成功体験が必要になる。その積み重ねが、「頑張ってたよかった」「自分は成長できた」「〇〇に認めてもらえた」という自己有用感につながる。悩みや困難さをはじめから取り除いてお膳立てをする教育ではなく、共に考え歩むことで、寄り添いながら乗り越えていくような指導を行っていきたい。

6 家庭の協力（基本的な生活習慣の育成、返事・挨拶、お手伝い）

児8	進んで、あいさつやえしゃくをしている。	前期	80%	18%	1%	1%	95	1.23
		後期	74%	23%	2%	0%	94	1.28
児17	家で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	前期	79%	15%	3%	3%	95	1.31
		後期	80%	13%	7%	0%	94	1.28
児18	家では、早寝、早起き、朝ご飯を食べる、顔を洗う、歯磨きをするなど、きちんとした生活をしている。	前期	67%	24%	10%	0%	95	1.43
		後期	69%	20%	7%	3%	94	1.45
児21	家で、お手伝いをしている。	前期	58%	23%	17%	2%	95	1.63
		後期	53%	32%	11%	4%	94	1.66
保3	学校はあいさつ運動の充実に努めている。	前期	55%	40%	4%	0%	89	1.49
		後期	65%	32%	2%	0%	81	1.37
保13	お子様は、家庭で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	前期	64%	33%	3%	0%	89	1.39
		後期	69%	27%	4%	0%	81	1.35
保14	お子様は、早寝、早起き、朝ご飯、洗顔、歯磨き等の基本的な生活習慣が身に付いている。	前期	26%	51%	21%	2%	89	1.69
		後期	28%	54%	16%	1%	81	1.64
保15	お子様は、家で手伝いをしている	前期	26%	40%	29%	4%	89	2.00
		後期	28%	54%	16%	1%	81	1.90

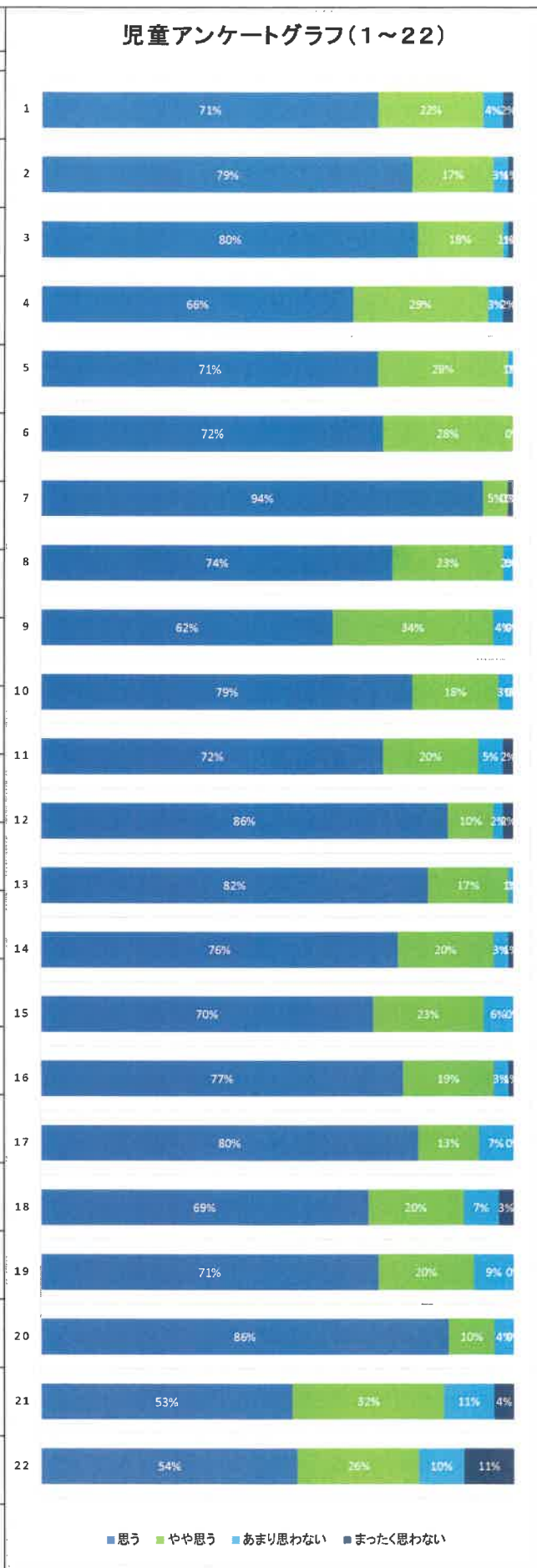
・家庭でお手伝いをする習慣がない、あるいは十分ではない児童が多い。部活やスポーツ少年団、習い事などで多忙であったとしても、それは大人も同じである。家族の一員としての自覚を持たせることや家族に対する感謝の気持ちを育てていくことが今後の課題となる。

・児18、保14：基本的な生活習慣について、保護者と児童の回答結果の差が約0.2Pととても大きい。それぞれの立場で、捉え方や評価基準が異なっているからであろうと考えられるので、具体的な視点で保護者と児童の意識や実態の擦り合わせができるように、手立てを講じていく。

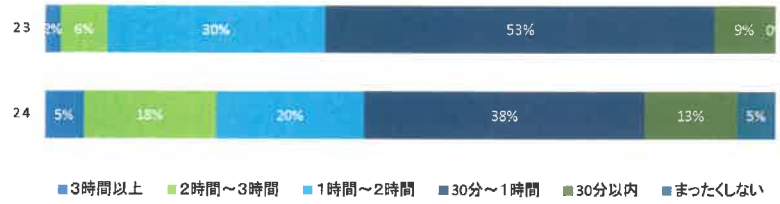
・元気アップ週間を通して、基本的な生活習慣が身につくように取り組んでいるが、家庭差がある。家庭での教育力を育成できるような取組（お手伝いの日、お手伝い週間の設定など）について検討していく。

令和5年度(後期)児童アンケート(1/2)		(94/94名) 回答率100%					平均
		1	2	3	4	計	
1	学校に行くのは、楽しい。	67	21	4	2	94	1.37
2	授業には、楽しく参加している。	74	16	3	1	94	1.27
3	授業は、分かりやすい。	75	17	1	1	94	1.23
4	授業で意欲的に自分の思いや考えを発表したりノートに書いたりしている。	62	27	3	2	94	1.41
5	授業では、学級の友達と話し合う活動(ペア・グループ)をよくしている。	67	26	1	0	94	1.30
6	授業では、chromebook(クロムブック)をよく使っている。	68	26	0	0	94	1.28
7	chromebook(クロムブック)の使い方は分かる。(教えてもらった場合も含む)	88	5	0	1	94	1.09
8	進んで、あいさつやえしゃくをしている。	70	22	2	0	94	1.28
9	言葉づかいに気を付けて、友達と、話したり、遊んだりしている。	58	32	4	0	94	1.43
10	友達に優しく接している。(同じ学年の友達だけでなく他の学年の友達も含む)	74	17	3	0	94	1.24
11	学校のきまりが、守れている。	68	19	5	2	94	1.37
12	学校では、自分や友達の安全に気を付けて行動している。	81	9	2	2	94	1.20
13	学校で地震や火事が起こったとき、どういう行動をとればいいのか分かっている。	77	16	1	0	94	1.19
14	先生は、あなたのことに、気を付けてくれている。	71	19	3	1	94	1.30
15	困ったことやいやなことがあったとき、先生に頼ったり、相談したりすることができる。	66	22	6	0	94	1.36
16	わずかしいことがあっても、自分のめあてに向かって、粘り強くがんばっている。	72	18	3	1	94	1.29
17	家で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	75	12	7	0	94	1.28
18	家では、早寝、早起き、朝ご飯を食べる、顔を洗う、歯磨きをするなど、きちんとした生活をしている。	65	19	7	3	94	1.45
19	家で、毎日、宿題や自主学習などの勉強をがんばっている。	67	19	8	0	94	1.37
20	家で、ゲームやSNSのきまりを守って遊んでいる。	81	9	4	0	94	1.18
21	家で、お手伝いをしている。	50	30	10	4	94	1.66
22	家の人がいないときに、地震などの災害が起こったとき、どうすればいいか話している。	51	24	9	10	94	1.77

児童アンケートグラフ(1~22)



令和5年度(後期)児童アンケート(2/2)		3時間以上	2時間～3時間	1時間～2時間	30分～1時間	30分以内	まったくしない	計
23	平日(月～金)の家庭学習時間はどれくらいですか。(塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。)	2	6	28	50	8	0	94
24	休日(土、日、祝日)の家庭学習時間はどれくらいですか。(塾、家庭教師の時間は含む。読書は含まない。)	5	17	19	36	12	5	94

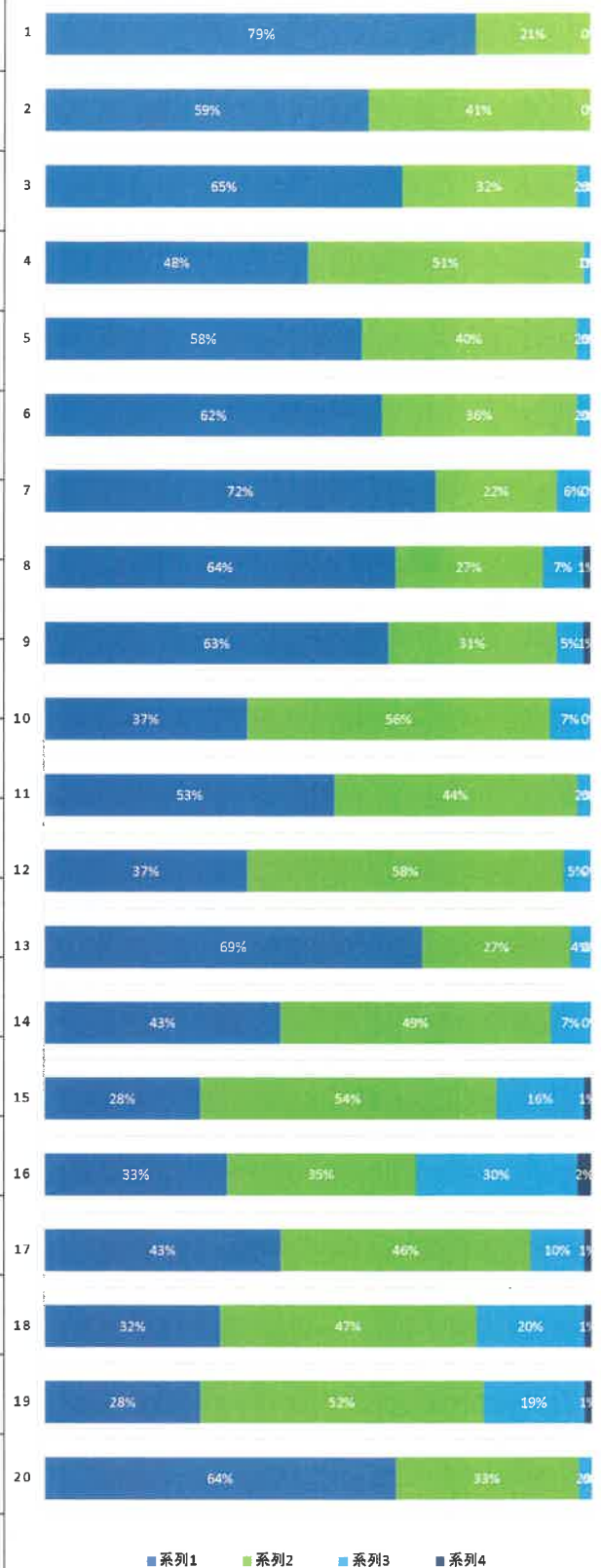


		1時間以上	30分～1時間	30分以内	まったく読まない	計
25	読書の日(月曜日)には、どれくらいの時間、本を読んでいますか。	15	45	33	1	94



令和5年度(後期)保護者アンケート(1/2)		(81/94名) 回答率94%					平均
		1	2	3	4	計	
1	1. お子様は、楽しく学校に通っている。	64	17	0	0	81	1.21
2	2. 学校は、基礎学力の定着と学力向上に努めている。	48	33	0	0	81	1.41
3	3. 学校は、あいさつ運動の充実に努めている。	53	26	2	0	81	1.37
4	4. 学校は、言葉遣いや規範意識を高めるための指導に努めている。	39	41	1	0	81	1.53
5	5. 学校は、児童の安全確保や施設・設備の安全管理ができています。(感染予防対策の徹底と適切な対応を含む。)	47	32	2	0	81	1.44
6	6. 学校は、自分や他の人の命を大切にする教育(心の教育・人権教育・防災教育・情報教育・交通安全教育)の推進に努めている。	50	29	2	0	81	1.41
7	7. 学校は、校報やホームページ、学級通信等で情報を伝えている。	58	18	5	0	81	1.35
8	8. 教職員は、一人一人のお子様の理解に努めている。	52	22	6	1	81	1.46
9	9. お子様と教職員は、良好な信頼関係を築いている。	51	25	4	1	81	1.44
10	10. お子様は、めあてに向かって粘り強くがんばる子に育っている。	30	45	6	0	81	1.70
11	11. お子様は、明るく思いやりのある子に育っている。	43	36	2	0	81	1.49
12	12. お子様は、正しく判断し行動できる子に育っている。	30	47	4	0	81	1.68
13	13. お子様は、家庭で「おはよう」「いただきます」「おやすみなさい」等の基本的なあいさつをしている。	56	22	3	0	81	1.35
14	14. お子様は、早寝、早起き、朝ご飯、洗顔、歯磨き等の基本的な生活習慣が身に付いている。	35	40	6	0	81	1.64
15	15. お子様は、家で手伝いをしている	23	44	13	1	81	1.90
16	16. お子様は、読書の日(月曜日)には、本を読んでいる。	27	28	24	2	81	2.01
17	17. お子様は、宿題や自主学習(予習・復習等)をする習慣を身に付けている。	35	37	8	1	81	1.69
18	18. お子様は、ゲームやSNSについて、学校や家庭のルールを守って利用している。	26	38	16	1	81	1.90
19	19. 地震等の災害が起こった場合の対応を、お子様と話し合っている。(避難場所、連絡方法、保護者不在時の対応等)	23	42	15	1	81	1.93
20	20. 家庭で、お子様と会話をよくしている。	52	27	2	0	81	1.38

保護者アンケートグラフ(1~20)



学校教育をよりよいものにするために、参考にさせていただきます。学校に対するご要望、ご提案、ご意見等ありましたらご自由に、お書きください。(原文のまま)

★学校からの回答

①子どもの話だけで、何が正しいのか、本当なのか分からず、不安になることが多々あります。まだ低学年なので、特別な持参物など、大事なことは文面で伝えて欲しいです。

↓↓↓↓↓

★持参物については計画帳にて確認できるかと思いますが、「きちんと書けているか分からない」「何のことかよく分からない」という不安がある場合もあると思います。そんなときは、ご遠慮なく学校にお尋ねください。

②学級通信が少ないので、もっと子供の様子を知るために、なにか欲しいです。

↓↓↓↓↓

★お子様の様子が分かるよう、学級通信をはじめ何らかの形で情報発信できるように徹底します。

③学校行事のスケジュールや通学方法の連絡について。プリントを持って帰っておらず親が把握出来ない事や、親が記載したプリントを当事者教員へ渡していない事が、今期数回ありました。出来れば、参観日等のスケジュールはホームページや学校メールでお知らせ頂けると、間違いがないと思います。11月に先生方の研修で学校がお休みになりましたが、連絡が遅く非常に困りました。予定がわかった時点で早急にお知らせ下さい。

↓↓↓↓↓

★申し訳ありません。文書の行き違いがあったことをお詫びいたします。予定についても、ホームページや連絡メールで早め早めにお知らせできるように努めます。

④お世話になります。お陰様で学校が楽しくなりました。ありがとうございます。

↓↓↓↓↓

★ご家庭との連携の賜物です。ご協力ありがとうございます。

⑤旗当番で挨拶をするのですが、子供たちからの挨拶はすごく声が小さい。してない子もいる。

↓↓↓↓↓

★元気いっぱい班もたくさんあるのですが、確かに明らかに元気がないあいさつをしている登校班もあります。再度、分工会や学級であいさつの意味について話し合い、お互いが気持ちのよいあいさつができるように指導します。

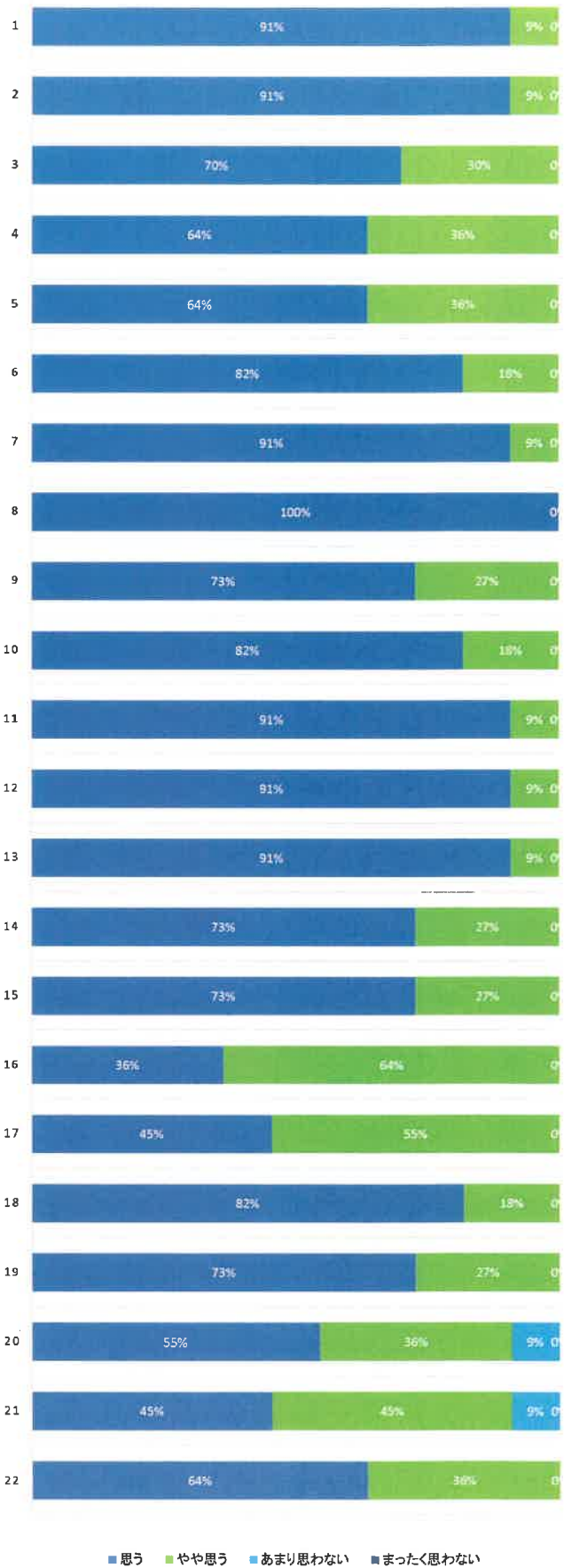
⑥お世話になっております。運動場の整備の件なのですが、プール前の車が通るコンクリートと運動場の境目の所が雨のせいか、穴が空いているので子供達がケガをしないか最近気になります。先生方もお忙しいと思うのですが、出来る時に土など入れてもらえたら安心です。よろしくお願いします。

↓↓↓↓↓

★ご指摘ありがとうございます。前回土入れをしてからだいぶ時間がたってしまいました。冬季休業中に整地作業を行いました。今後は定期的に作業を行うよう心掛けます。

令和5年度(後期)教職員アンケート		1	2	3	4	計
1	1.学校の教育目標【「つよく、やさしく、きまりよく生きる」千丈の子を育てる】の達成に向けて、指導や支援に努めたか。	10	1	0	0	11
2	2.学習指導において、基礎・基本の確実な定着・向上に努めたか。	10	1	0	0	11
3	3.分かりやすい授業を心掛け、授業改善に努めたか。	7	3	0	0	10
4	4.主体的に考え、共に学び合う児童の育成(研究主題)に努めたか。	7	4	0	0	11
5	5.教育活動中でのICT機器の効果的な活用に努めたか。	7	4	0	0	11
6	6.命を大切にする教育の推進(心の教育・防災教育・情報教育・交通安全教育)に努めたか。	9	2	0	0	11
7	7.教師自身が明るくさわやかな挨拶や返事をする事を心掛けるとともに、児童への挨拶や返事の指導に努めたか。	10	1	0	0	11
8	8.児童の間違った行動に対して、毅然とした態度で指導するように努めたか。	11	0	0	0	11
9	9.人権・同和教育の充実・改善に努め、児童が豊かな心をもてるよう、指導や支援に努めたか。	8	3	0	0	11
10	10.児童の自尊感情を高めるために、一人一人を大切にする指導や支援に努めたか。	9	2	0	0	11
11	11.生徒指導上の問題(いじめ、非行、不登校等)の未然防止に向けた指導や支援に努めたか。	10	1	0	0	11
12	12.安全な学校環境作りに努めたか。	10	1	0	0	11
13	13.危機管理意識をもち、子どもの安全確保に努めたか。(新型コロナや熱中症の対応も含む)	10	1	0	0	11
14	14.児童は、「めあてに向かって粘り強がんばる子」に育っている。	8	3	0	0	11
15	15.児童は、「明るく思いやりのある子」に育っている。	8	3	0	0	11
16	16.児童は、「正しく判断し行動できる子」に育っている。	4	7	0	0	11
17	17.家庭と連携し、児童の学力向上や基本的な生活習慣の育成に努めたか。	5	6	0	0	11
18	18.家庭と連携し、生徒指導上の問題についての早期対応に努めたか。	9	2	0	0	11
19	19.家庭・地域と連携をとり、信頼される学校作りに努めたか。	8	3	0	0	11
20	20.ワークライフバランスを考え、家庭と仕事の両立に努めたか。	6	4	1	0	11
21	21.働き方改革の意識をもち、業務改善、負担軽減となるよう努めたか。	5	5	1	0	11
22	22.公文書や表簿類の適切な保管や正確かつ迅速な事務処理に努めたか。	7	4	0	0	11

教職員アンケートグラフ(1~22)



教育計画に基づいた番号	
	学校目標・校訓 (1 14 15 16)
	学習指導 (2 3 4 5)
	心の教育 (6 9 10)
	生徒指導 (7 8 11)
	安全・安心 (12 13)
	家庭との連携 (17 18 19)
	働き方改革 (20 21)
	事務管理 (22)
	<p>考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの項目も、肯定的な回答が多く、円滑に学校運営を進めることができていると言える。教員減により一人一人の教職員の校務分掌が多くなり負担が増えているため、互いに声掛けや配慮をしながら、業務を進めていきたい。 ・家庭との連携や生徒指導面については、後期も学校（教職員）全体で情報を共有し、担任や担当など一部の教職員で抱え込むことのないようチームで取り組むことができている。今後もケース会議の計画的開催や教育支援室、教育相談員との連携を図りながら、児童や家庭のためによりよい方法をしっかりと考えていく。 ・ワークライフバランスや働き方改革については、前期に比べて若干ポイントが下がっている。業務に関する精選や分担に関して、共通理解が十分に図れなかったことが原因と考えられる。再度、共通理解を図る場をしっかりと設定した上で、相互理解を促進させ、意識改革、行事・会議の精選等による負担軽減につなげていきたい。 ・引き続き、職員室の温かい雰囲気作りや何でも悩みを言い合える関係性づくりを心掛けていく。困ったときはお互い様の精神で相互援助を充実させ、学校での業務と同様、教職員自身の家庭や健康を大切にする。